

「新年あけましておめでとうございます」

園長 鈴木 勝

子

昨年中はこども園の事に関しまして温かいご支援とご理解をいただき感謝申し上げます。今年のお正月は天候にも恵まれ、皆さま穏やかに新しい年を迎えられたことと思います。

さて、昨年十二月のクリスマス祝会には、たくさんのお家の方がご参加くださりありがとうございます。いただいたアンケートの一部を下欄に載せさせていただきました。皆様ご承知の通り、聖隷こども園ひかりの子は昨年四月より1号認定のお子さんの受け入れを開始し、定員が二百三十六名となりました。日々の保育はもちろんのこと園行事につきましても、幼い子どもたちが発達に応じて安全で安心して楽しめること、そして、行事は単なるイベントではなく保育の一環として考えております。園として大切にしたいこの様な願いは、園児数が増えることで、行事の持ち方もその都度、検討していく必要があります。昨年と同じやり方ではなく、目の前の子どもの姿に合わせて、今年度のクリスマス祝会はどうするのか、年齢ごとの発達を踏まえどのような形にするのか職員間で話し合いを行いました。0・1歳児クラスでは初めてのクリスマス祝会を経験される親子さんが大半です。親子でゆったりとした時間を過ごしてほしい。クリスマスとはどんな日なのか、職員の人形劇でご覧になっていただきました。2歳児は保育の中でも職員を相手にごっこ遊びが始まります。職員による劇をお家の方と一緒に観て、知っている歌をうたったり、劇に飛び入り参加をしたりしてクリスマスのお話を楽しみました。3歳児はごっこ遊びの中で役になりきって楽しめます。当日はお家の方から離れて、職員や友達とお気に入りの役の衣装を着てページェントごっこを楽しみました。好きな歌が始まると着ている衣装は関係なく一人何役もこなして楽しめます。お家の人から離れても、友達や職員と一緒に楽しいと感じる事は大きな成長ですね。4歳児は5歳児と一緒に決めた役で何人かの友達と歌をうたったり、セリフを言ったり、一人ではなく友達と一緒に達成する経験をします。4・5歳児一緒にページェントを進めることで5歳児への憧れの気持ちも強くなります。5歳児は人前で一人でセリフを言ったり歌をうたったりすることは、私たち大人でも簡単ではありません。ナレーションは自分が言わなければ劇が止まってしまう。かなりのプレッシャーも経験します。

この様に、ひかりの子のページェントは0歳児から子どもの育ちに必要な経験を踏まえて、保護者の皆様と共にイエス様のご降誕をお祝いし、一人一人の子どもさんの成長を喜ぶ日でもあります。今年も4・5歳児のクラスでは当日を迎えるまでに、やりたい役が出来ず悔しい思いをしたり、役を譲ってあげたり譲ってもらったり、リハーサルで大勢の人に圧倒されて顔を上げられなかったり、子どもたちはいろいろな経験をしました。祝会当日は大勢の人前で堂々と演じる姿があり、一人一人の心の成長を感じることができました。

今後も子どもの最善の利益を保証し、保育の一環としての行事の在り方を職員間で検討しながら、より質の高い教育・保育を目指していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。